

事務事業 No./名 称	■サービス部門 文財-04 文化財保存・修理助成事業 □支援部門									
主管課	文化財課	関連課	世界遺産登録推進担当							
分野名	歴史環境									
目標 (目標値)	指定有形文化財等の適正な保存管理とその活用を図る。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	27,931	12,273	33,684						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	27,931	12,273	33,684						
	人員配置数	1.0	1.0	1.0						
	人件費(千円)	8,174	8,762	9,690						
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	36,105	21,035	43,374						
	市民1人当 りの経費(円)	204	119	245						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜市	横須賀市	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市				
	国・県指定文化財数	160	27	283	31	11				
	市指定文化財数	147	79	300	107	24				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
保存修理件数	◎	目標値	7	7	7	7				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	10	6	5	8				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
文化財保存・修理助成事業	3,802千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	指定文化財の適正な保存管理とその活用を図り、後世に伝えるため、必要な費用に対し補助を行う。													
文化財保存・修理助成事業	24,129千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	指定文化財の適正な保存管理とその活用を図り、後世に伝えるため、必要な費用に対し補助を行う。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	指定文化財の増加に伴う、修理要望の増加に対応しきれっていない		
課題解決のための取組	指定文化財の状況を把握しながら、国・県・所有者と協議し、計画的に修理を実施した	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	指定文化財の市指定に対する保存修理については、十分な対応ができていない		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		市指定文化財の保存修理については、所有者と協議し、 緊急性を配慮しながら計画的に実施する	↓ C 課長(代理) 茶木 久美子
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
文化財保存・修理助成事業	主な個別事業	170 面掛行列保存育成事業	60	60	○	○	○	○
		170 鎌倉文化財防災連絡協議会事業	3,933	3,594	○	○	○	○
		170 鎌倉市郷土芸能保存協会育成事業	147	147	○	○	○	○
		170 市指定文化財緊急保存修理事業	95	0				
文化財保存・修理助成事業	主な個別事業	1254 国指定重要文化財円覚寺文書保存修理事業	265	265	○	○	○	○
		1254 鶴岡八幡宮収蔵庫保存修理事業	2,006	2,006	○	○	○	○
		1254 国指定史跡鶴岡八幡宮境内環境整備事業	12,777	12,777	○	○	○	○
		1254 国指定重要文化財石室善玖墨蹟他保存修理事業	171	171	○	○	○	○
		1254 県指定重要文化財旧内海住宅保存修理事業	4,000	3,876	○	○	○	○
		1254 県指定有形民俗文化財鶴岡八幡宮神輿保存修理事業	4,264	4,264	○	○	○	○
		1254 県指定重要文化財英勝寺仏殿保存修理事業	604	604	○	○	○	○
		1254 県指定重要文化財杉本寺観音堂保存修理事業	0	166	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							